

令和7年度シラバス

視能訓練士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
視能検査学総論		講義・演習	山本 雅美・荻野 綾	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（2 単位）		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
視能訓練士は、数多くの検査機器を用いて眼科検査を行います。本講義では、検査機器の取り扱いに関する概要、検査実施時の心得について説明し、検査機器の基本的操作の体得および、患者の気持ちや身体の状態に配慮しながら安全を意識した検査が行えるようになることを目的とする。さらに、視能検査学の学びに欠かせないレポートについて基本的な書き方を習得する。				
授業の到達目標				
①検査機器の基本的知識を説明することができる。 ②患者の心理面、身体面、安全面に配慮した検査と基本的機器操作を実施することができる。 ③レポートの書き方を理解し、課題に対して適切にレポートで表現することができる。 ④瞳孔間距離計測検査を正しくを測定することができる。				
授業計画				
回 内容				
1	ガイダンス（視能検査学とは） 眼科検査の経験を振り返る			
2	視能検査機器の基本的知識・安全管理・メンテナンス			
3	視能検査の基本①（実習室）			
4	視能検査の基本②（実習室）			
5	視能検査の基本③（実習室）			
6	レポートの書き方について①（レポート課題①）			
7	レポートの書き方について②			
8	レポートの書き方について③			
9	患者・医療者の心理を考える①（レポート課題②）			
10	患者・医療者の心理を考える②（レポート課題③）			
11	瞳孔間距離計測検査①（基本編）			
12	瞳孔間距離計測検査②（応用編）（レポート課題④）			
13	課題研究			
14	課題研究			
15	視能検査学総論の学びを振り返る			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	80%			
レポート・課題	20%	課題に対し適切にレポート作成ができているかを評価する。（評価項目は別途示す。）		
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
視能学 第3版	小林義治 他編	文光堂		
眼科検査ガイド 第3版	根木昭 監修	文光堂		
視能学エキスパート 視能検査学 第2版	和田直子 他編	医学書院		
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
なし				
自由記載				
備考				